

Title	編集後記 (泌尿器科紀要 第53巻第10号)
Author(s)	
Citation	泌尿器科紀要 (2007), 53(10): 760-760
Issue Date	2007-10
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2433/71490">http://hdl.handle.net/2433/71490</a>
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

シンポジウムなどの記録や治験論文については編集部で採否を決定する。

4. **論文の訂正**：査読審査の結果，原稿の訂正を求められた場合は，40日以内に，訂正された原稿に訂正点を明示した手紙をつけて，前記泌尿器科紀要刊行会宛て送付すること，なお，Editor の責任において一部字句の訂正をすることがある。
5. **採択論文**：論文が採択された場合，原稿を3.5インチフロッピーディスク・MO ディスク・CD-R・CD-RW のいずれかに保存し，編集部へ送付する．ディスクには論文受付番号・筆頭著者名・機種名・ソフトウェアとそのバージョンを明記する．Windows の場合は MS-Word・一太郎，また Macintosh の場合は EG-Word・MS-Word とし，特に Macintosh においては MS-DOS テキストファイルに保存して提出すること。
6. **校正**：校正は著者による責任校正とする．著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する。
7. **掲載**：論文の掲載は採用順を原則とする．迅速掲載を希望するときは投稿時にその旨申し出ること。
  - (1) 掲載料は1頁につき和文は5,775円（税込），超過頁は1頁につき7,350円（税込），写真の製版代，凸版，トレース代，別冊，送料などは別に実費を申し受ける。
  - (2) 迅速掲載には迅速掲載料を要する．5頁以内は31,500円（税込），6頁以上は1頁毎に10,500円（税込）を加算した額を申し受ける。
  - (3) 薬剤の効果，測定試薬の成績，治療機器の使用などに関する治験論文および学会抄録については，掲載料を別途に申し受ける。
8. **著作権**：当誌に掲載する著作物の複写，複製，転載，翻訳，データベースへのとりこみ及び送信等の権利は，泌尿器科紀要刊行会に帰属するものとする。
9. **別刷**：30部までは無料とし，それを超える部数については実費負担とする．著者校正時に部数を指定する。

## 編 集 後 記

最近，体腔鏡下手術が増え従来の開腹手術に入る機会がたいへん少なくなった．若い泌尿器科医達は体腔鏡下手術の腕前を急速に上達させている．しかし，そのいっぽうで開腹手術への対応がいっそう難しくなっているように思う．もちろん開腹手術に立ち会う機会自体が少なくなっていることも一因ではあろうが，どうもそれだけでは無いように感じている．

体腔鏡下手術は自由度の低い拡大視野の手術である．術者の姿勢や手元よりもモニター画面に映る細かい鉗子操作にしぜん注意が向く．いっぽう従来の開腹手術では，細かい操作も重要であるが，術者の姿勢，頭の位置，肘や手の neutral position など，体全体のバランスも大切である．自由度が高いために，基本となるお作法が必要なのだと思う．姿勢や肘の位置が悪い場合には，関節の自由度が制限され繊細な鉗子操作が出来ない．

細かいことばかりに気をとられ，手術の基本を忘れてはならない．以前は，手術台への体の向け方，頭や肘の位置などに関して先輩泌尿器科医から厳しく注意を受けたものである．そしてそうする中から術者としての心構えや全体を見渡し手術をリードする精神までも学んできたように思う．特に体腔鏡世代の若手泌尿器科医の皆さん．モニターばかりに気をとられず，上手な術者の美しい立ち姿も見習ってください．

（小川 修）